

日本伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラム平成28年度第1回例会
化学工学会エネルギー部会熱利用分科会平成28年度第1回研究会 共同開催

「川崎重工業(株)明石工場の見学とエネルギー関連分野における
CO₂排出削減技術に関する講演会」の報告

日時：平成28年7月12日(火) 13:00～17:00

会場：川崎重工業株式会社 明石工場（〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1番1号）

伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラムの平成28年度第1回例会を、化学工学会エネルギー部会熱利用分科会と共同で開催いたしました。川崎重工業株式会社のご協力を得て、会場を同社明石工場とし、工場内の見学と2件の講演の講演会を行いました。明石工場は2輪車およびガスタービン機器の同社の製造拠点であり、見学会では2輪車の組み立てラインや最終検査場、出荷前運転検査中のガスタービン発電装置の他、同社実製品の資料館の見学を致しました。

講演会では、同社 笠 正憲 様から「カワサキガスタービンの紹介と水素燃料への取り組み」と題して、これまでの同社のガスタービン機器開発の経過や30MW級で世界最高効率を達成したL30A型の最新技術、ガスタービン機器への水素燃料の導入等に関して御講演頂きました。また、東京工業大学の加藤 之貴 先生には「炭素循環エネルギーシステム(ACRES)による産業の低炭素化」と題して、現在の温室ガス排出に関わる各種のデータや世界協定について御紹介頂いた上で、産業プロセスから発生する二酸化炭素を炭素資源材料として再生し、循環利用する新しい炭素循環システム(ACRES)について詳細に解説頂きました。

講演会・見学会には29名の方にご参加頂き、活発な議論が行われました。見学会終了後、意見交換会を開催し、13名の出席者により引き続き活発な議論および意見交換が行われました。



笠 講師



加藤 講師



集合写真